

2学年だより

小平市立小平第二中学校
第2学年 学年だより
第30号
令和4年11月11日(金)

「合唱コンクール」

C組 粉山 莉穂

私は、今回の合唱コンクールに対して一年生の時よりも積極的に、より真面目に取り組めたと思います。一年生の時は、歌う事が苦手で合唱コンクールに不安を感じていました。でも今年は楽しく迎えることができました。それは合唱コンクールまでの練習のおかげだと思います。

練習は音楽の授業と昼休みの時間くらいしかできませんでした。本来なら朝も放課後もクラス全員で練習するらしいのですが、新型コロナウイルスのせいでそんな貴重な機会もなくなってしまいました。ですが、私は昼休みの時間はもちろん家で勉強をしたりするときも「かみさまへのてがみ」と「友よ北の空へ」を何度も何度も聞き、たまには歌って真面目に練習に取り組めました。一年生の頃はこんなに積極的に合唱コンクールに取り組んでいなかったのに、一年たって関心が高まったのでしょうか、自分でも驚くほど一つのことに集中しました。

たくさんの練習と実行委員からのアドバイスを積み重ね、本番へ自信たっぷりの状態で向かうことができました。本番では、しっかりとリズムが刻められていた指揮の成長に驚きました。練習の時点ではずれてしまったのが、ピアノとぴったり合っていました。歌う側も練習で出せていなかった分の声を出せていたと思います。

惜しくも最優秀賞や優秀賞を獲ることはできませんでしたが、本番はしっかりと歌いきることができました。二年生の部の最後だったので、とても緊張しました。もうすでに一年後に歌う曲が配信されているので、今からメロディと歌詞を覚えて次の合唱コンクールに備えたいと思います。次は最優秀賞を目指したいです。



「悔いのない合唱コンクール」

D組 滝沢 あゆみ

「やりきった。」大きな拍手がホールに響く中、一番に思ったことでした。

去年の合唱コンクールが終わったその日に今年の課題曲を知りました。YELL と比べてテンポも速く、リズムも難しくて最初に聴いたとき「何この曲。」と思ったことを覚えています。しかし、練習していくうちにその曲の魅力を感じ、どうしたらもっとはっきり伝わるのか、より響かせるにはどうしたらいいのかなど、自然と考えていきました。今年の四月、今のクラスで初めて歌った時は、みんな自信のない歌声で自分も少し不安な部分がありました。歌詞を覚えて自信をつけるため、夏休み中にたくさん練習しました。夏休み明けから次第にみんなの歌声が大きくなっていき、意識も高まっていった感じがします。合唱コンクール一週間前くらいから教室では歌えない代わりに毎日家で歌っていました。

合唱コンクール当日、朝から気合が入っていた気がします。二年生の部が始まり、次だと思つと一気に緊張してきました。D組のクラス紹介がアナウンスされ、舞台上上がると頭の中が真っ白になり、歌詞も頭から離れていくような感じがしました。どうしようと思いましたが、いざピアノの伴奏が始まると無意識に歌っていました。二曲歌い終わると達成感が湧いてきました。

今回、クラス全体の雰囲気も RIKUTAI では二位だったという悔しさもあって、合唱コンクールではなんとしても最優秀賞が欲しかったので、望んでいた結果になってうれしかったです。

すでに来年の合唱コンクールの課題曲の練習が始まりました。三年生、中学最後の合唱コンクールになるので、また自信をもって歌うことができるようにしっかり練習していきたいです。



保護者の皆さまへ

- 11月16日(木)は校内の研修会です。今回は2年生の授業をいろいろな先生方に見ていただくことになります。そのため、2年生だけ5時間目まで授業、その後下校・部活動となります。他の学年は給食・学活後下校、2時半部活動再登校となっています。
- 11月18日(金)①～④時間目は職業学習第2弾を行います。⑤⑥時間目は「子どもを笑顔にするプロジェクト」ということでゲストの方をお招きしてトークショーが行われます。

中 学 校 卒 業

A 進 学

都立高校

私立高校

	出願	入学試験	合格発表	入学手続き
推薦入試	1月15日前後	1月22日(日)が最も多い	当日もしくは翌日	発表日から2~3日後が一般的
一般入試	1月下旬~2月上旬	2月10日(金)11日(土)12日(日)がほとんど。 学校によっては2回受験することも可能	当日もしくは翌日	公立学校発表日翌日

私立高校の場合は、都立高校と異なり、必ずこの日に試験を実施しなくてはならないという約束はありません。そのため、受験をする学校により入試日程が多少異なることが多く、試験の内容も学校によってまちまちです。例えば…

昭和第一学園高等学校の場合

募集人員

<推薦入試>

普通科特別選抜コース17名

普通科選抜進学コース60名

普通科総合蔭額コース

文理進学

と普通科総合進学探求で 200名

<一般入試>

普通科特別選抜コース17名

普通科選抜進学コース60名

普通科総合蔭額コース

文理進学と

普通科総合進学探求で 200名

試験日

<推薦入試> 1月22日(日)

<一般入試①> 2月10日(金)

<一般入試②> 2月11日(土)祝日

選抜方法

<推薦入試> 作文・面接

<一般入試> 国語・英語・数学各40分
面接

拓殖大学第一高等学校の場合

募集人員

<推薦入試> 160名

(特進コース 40名・進学コース120名)

<一般入試> 240名

(特進コース60名・進学コース180名)

試験日

<推薦入試> 1月22日(日)

<一般入試Ⅰ> 2月10日(金)

<一般入試Ⅱ> 2月12日(日)

選抜方法

<推薦入試>

作文・面接・推薦書・調査書

<一般入試>

国語・英語・数学3科目各50分

面接・調査書

白梅学園高等学校の場合

募集人員

普通科280名

・特別選抜コース(特選国公立系/特選文理系)

・選抜コース(選抜文理系)

・進学コース(進学文理系/保育・教育系)

試験日

<A推薦> 1月22日(日)

<一般入試(第1回)> 2月10日(金)

<一般入試(第2回)> 2月13日(月)

どちらかの日程か選ぶことができる。第1回で不合格だった場合、第2回を受験することができる。

試験内容

<A推薦> 作文(50分)・面接

<一般入試>

国語・英語・数学3科目各50分

面接(グループ)

このように、学校によって募集人員やコースの名前、試験の呼び方やその内容も異なります。まずは、自分が進学したい私立高校について調べてみるところから始めましょう。何が第一優先かは人によって異なります。下の□をチェックして自分に何かが大事なのか、を考えてみましょう。

☐ 通学時間や通学方法☐ 学びたい学科やコースがある☐ 進学実績がある☐ 指定校推薦が充実している☐ 在学中に資格がとれる☐ 入部したい部活動がある☐ 留学やホームステイの制度が整っている☐ 制服が好み☐ 兄や姉が進学している☐ 文化祭がさかん☐ 校舎が綺麗で設備が充実している